

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第80号

古牧だより通算174号

華麗な演芸
繊細な展示

第32回古牧地区ふるさと文化芸能祭

11月3日(火)文化の日、古牧地区第32回ふるさと文化芸能祭が開かれました。当日は、穏やかな秋空の下、620名と多くの方のご来場によりにぎわいを見せました。古牧小学校体育館で開会式があり、芸能部門が古牧小学校西体育館、展示部門は古牧公民館でした。

芸能部門の第一部は、学校・各種団体の部が華麗なる獅子舞

(御神楽)で開幕しました。小学校・中学校・各種団体の合唱・演奏は、力強い演奏、ハー

モニを響かせる合唱、ヒット曲を集めた吹奏楽など多彩でした。

和太鼓の音が体育館に響くな

か、第二部の地域公民館の部が始まりました。華麗な新舞踊、三味線、また、楽器演奏では見事な尺八の音色に聞き惚れました。



緑ヶ丘小金管バンドは全国大会に初出場しました

展示会場の公民館集会室には、書・拓本、手芸・工芸、絵画・ちぎり絵・写真、生花・盆栽など90点以上の力作が展示され、どれも素晴らしく、その中でも紙漆喰画の2作品には来場者が見とれていました。

また、和室では小学生の伝統文化「いけ花親子教室」があり、小学生のきれ

でかわいい作品がたくさん並びました。

お楽しみ抽選会で、特賞の折りたたみ自転車を当てた南高田の原山さん、「嬉しくて言葉になりません、ありがとうございました」と話していました。



ふるさと文化芸能祭は、大盛況のうちに幕を閉じました。

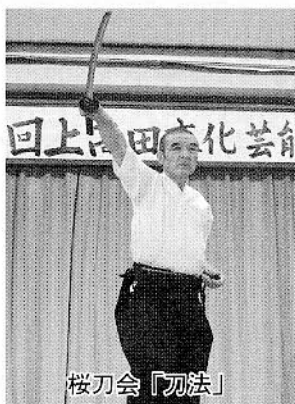
(公民館部)

そこにはドラマがある 各区で文化芸能祭開かれる

上高田区文化芸能祭（11月1日）と川端区文化祭（11月3日）におじゃましました。

上高田区文化芸能祭

文化芸能祭は神楽でスタート。獅子の宮原昭夫さん（68）は後継者不足に悩む他区のお祭りなどのお手伝いもしています。「みなさんのご健康とご長寿の思いをこめて舞いました。舞いを見て若者が集まってほしいです」と語ります。



桜刀会「刃法」

踊りを披露した上高田婦踏会のみなさん。婦人会の部活として発足しましたがその婦人会が解散。今回が最後の舞いです。みなさんに「頑張れ」などの声援。宮島文子さんは「35年続けてきました。ただただ複雑な気持ちです。ここへ帰ってきたい」。



吟詠会「宝船」

書道吟で筆を走らせ「立派な書だね」と声をかけられた中澤範一さん（75）。「本来、書は心落ち着けて書くもの。吟に合わせなきゃいけないし、気になってね、なかなかできないね」

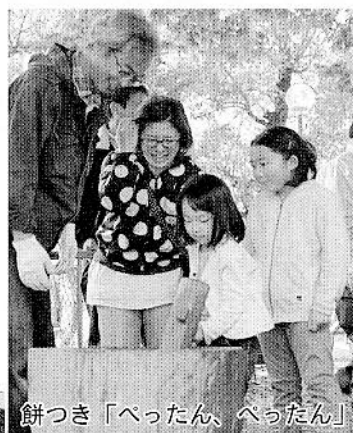
集まった方からは「子ども会の合唱がいい。希望だよ」「上高田の方言での寸劇は爆笑でした」などの声が聞かれました。



子ども会「合唱」

川端区文化祭

午前11時前、川端公民館に親子づれ、近所の方が集まってきました。子どもたちの餅つきです。小さな子はお父さんやお母さんと杵を握りま



餅つき「べったん、べったん」



餅をふるまう

す。お母さんと列にならんだ女の子（写真上）に感想を聞くと、「・・・」恥ずかしくてもじもじ。お母さんの足にしがみついて顔を隠してしまいました。

館内は展示です。

野鳥の写真を出展した倉石修嗣郎さん（64）は「主にヤマセミの営巣や子育てなど一年シーズンの流れを通して撮っている。野鳥は同じ写真は1枚もない。だから面白いし楽しい」と話しました。



展示

休憩所で「みなさんの心が集まっています。来年は浴衣などを出展したい」「押し花がすてき。きれいな風景画になっていてね」と話をおうかがいしました。

（広報部）

生ごみリサイクル施設研修と防災体験の実施

11月18日から19日総務部及び環境美化部は、下諏訪町及び愛知県豊田市の施設で研修・体験を実施した。下諏訪町は生ごみリサイクルを、豊田市は防災についてでした。

下諏訪町は「生ごみ減容リサイクルセンター」を視察。同所は、平成15年に焼却ごみ処理施設がピークに達したことから、近隣の岡谷市・諏訪市と共同で設置した家庭排出ごみの約4割を占める生ごみを焼却せず、堆肥としてリサイクルする施設です。

平成17年から住民の参加を募集し、各人及び各グループが約10ℓのビニール袋に生ごみを入れ（水分吸収のため若干の粉ガラ混入）、20ℓの密封容器に入れて、センターへ持参します。同センターは一次処理施設で、この生ごみを委託会社が処理機に随時搬入し、5分運転・40分停止の断続を繰り返すことで微生物が水と炭酸ガスに分解して、投入後24時間で生ごみを最大150分の1から300分の1に減容します。処理能力は、月間22.5t（1日300kg×処理機3台、25日稼働）で、年間270t



です。

減容された残渣物は、町外の処理施設で二次処理として天日乾燥し完熟堆肥に加工され、年2回参加者に還元されています。

委託会社の海老原社長は、「家族でボランティアの精神で実施している。減量意識をもっと高めてもらいたい。」と述べました。

続いては、豊田市の「防災学習センター」での防災体験でした。

最初にビデオによる震災等を鑑賞後、防風・地震・煙の各体験をした。暴風では、風速40m/秒を体験、手すりにつかまり息もやっとの状態。地震では、手すりを握っているうちに、いきなり震度7程度を体験。煙では、暗い室内に入ってパズル状に仕切られた部屋扉の開閉確認から出口脱出まで、口にハンカチを当てての避難です。

「スゴイなあ」、「真っ暗で迷った」など、万一災害にあった時の対処はどうあるべきか、貴重な臨場感を体験しました。（総務部）

『気持ちも体もひきしまるよ』

『ほんわか健康塾こまき』スタートから1カ月

介護予防や閉じこもりがちなお年寄りの“通いの場”をと10月2日にスタートした「ほんわか健康塾こまき」。10月30日に1カ月を迎えました。会場の古牧公民館学習室にはおしゃべりと笑い声のはじけていました。

参加者はまず血圧測定。食事などの生活面チェックや「家トレ」（生活動作に有効な筋トレ）



などを各自の手帳に書き込みます。体操は指導員のもと、休憩をはさんで2時間。ビートルズの曲などをBGMにストレッチから始めます。

北条区の女性（85）は「こういう場を企画してくれてありがたい。人生前向きだよ」と語ります。上高田区の女性（86）も

（続く）

（前ページより）

「一人暮らしだと刺激がない。こうやってもらえるとうれしい」とニコリ。南長池区の女性（81）は「体操をやった日は体が軽いんだよ。家にいるとテレビを見ているだけ。気持ちも体もひきしまるよ」。

この日は学生4人が実習に来ていました。「楽しそうに体操、ふれあいをしていらっしゃいました。機能が低下しないようにするのにいいと思います。それとみなさん、生きがいに感じていらっしゃるんだな—と思いました」と語りました。（広報部）

12月～2月の主な行事实施日のお知らせ

多くの皆様の参加をお待ちしています

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
年末防犯パトロール	12月上旬	各地区	夜間パトロール	防犯部 227-8219
介護者相談会	12月11日(金)	古牧公民館	介護の相談	ボランティアセンター 244-8159
一人暮らし高齢者の集い	12月15日(火)	古牧公民館	参加者の交流	ボランティアセンター 244-8159
交通安全街頭啓発活動	1月6日(水)	西尾張部交差点		交通安全部 224-8494
新年祝賀会・消防出初式	1月9日(土)	古牧公民館		総務部 243-3545
7公民館合同成人式	1月10日(日)	ホクト文化ホール		公民館部 226-5120
交通安全街頭啓発活動	2月3日(水)	西尾張部交差点		交通安全部 224-8494
介護者相談会	2月12日(金)	古牧公民館	介護の相談	ボランティアセンター 244-8159

しゃばえんびつ



感謝と思いやりの心を忘れずに

最近の事でした。私在家で農作業をしていたら、携帯がなり娘からでした。内容は前輪左側タイヤがパンクし、立ち往生しているとのこと。パンクした状態で車を路肩に寄せ、タイヤ交換をするように言いましたがタイヤ交換できないとのことでした。

どこにいるかを聞き、早速に急行するとタイヤ交換が済んでいました。どうしたのかと聞くと、見知らぬ男の人が来て、交換して下さったとのこと。娘がお礼を言いますと、見知らぬ人は「これからこのように何か困っている人がいたら手を貸してやって下さい」と言って立ち去ったそうです。

困った人がいれば何かしら手を貸してあげたいと思いました。そして感謝の気持ち・思いやりの心、忘れずに生きたいと思いました。（寺澤 章）



古牧地区の世帯数と人口

27年11月1日現在

11,131 世帯

26,802 人

(男 13,199人 女 13,603人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 武重 博明
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷